

3月8日刊行決定！

『格差社会スパイラル ～コミュニケーションで二極化する仕事、家族～』

コミュニケーションの第一人者伊藤守と社会学者山田昌弘氏による共著

日本におけるコーチングのパイオニア、(株)コーチ・トゥエンティワン及び(株)コーチ・エィの代表 伊藤守と、東京学芸大学教授で社会学者の山田昌弘氏による共著『格差社会スパイラル～コミュニケーションで二極化する仕事、家族～』が3月8日(木)、大和書房より発刊されます。

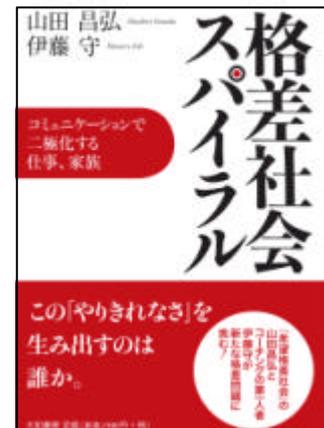
日本の社会現象を表す言葉として定着した「格差社会」。その行方は、家族や教育、職業、収入など、あらゆるものに格差が拡大し、その果てには将来に希望を持てる人と絶望する人に分裂する「希望格差社会」に突入していくと山田昌弘は社会学の視点から説く。

そのような社会環境の中で、自律性を保ち、仕事や家庭において自分が意図する物語(ビジョン)を構築できるのは、「コミュニケーション能力を持つ者」である。リレーショナル・インテリジェンス(自分を含む回りとの環境の中に関係性を築く知能)を高め、コミュニケーションの場を創り出す必要性を、30年来にわたりコミュニケーションをテーマに活動する伊藤守が提言する。

スパイラル化する格差社会を生き抜き、より良い社会を築くために必要不可欠な「コミュニケーションの本質」を知るための一冊。

本書の概要

- 書名： 『格差社会スパイラル
～コミュニケーションで二極化する仕事、家族～』
- 著者： 山田昌弘、伊藤守
- 定価： 1575円(税込)
- ページ数： 240ページ
- 発行日： 2007年3月8日
- 出版元： 大和書房
- 内容： 第一章 新たな格差の出現とその理由
第二章 格差スパイラルに関わる社会問題
第三章 負のコミュニケーションと若年層労働者
第四章 “実感”できぬ格差を生き抜くために



伊藤守(いとう まもる)

株式会社コーチ・エィ、株式会社コーチ・トゥエンティワン代表取締役。企業・経営者団体などを対象とした研修のほか、経営者の個人コーチも自ら手がける。国際コーチ連盟マスター認定コーチ。主著に『コーチング・マネジメント』(ディスカヴァー)、『小さなチームは組織を変える』(講談社)『コミュニケーションはキャッチボール』(ディスカヴァー)、『もしもウサギにコーチがいたら』『会話から始めるコーチング』(大和書房)など。

山田昌弘(やまだ まさひろ)

東京学芸大学教育学部教授。専門は家族社会学、感情社会学。内閣府・国民生活審議会、厚生労働省・若者の人間力を高める国民会議議員などを務める。主著に『希望格差社会』『パラサイト・シングルの時代』(筑摩書房)、『家族というリスク』(勁草書房)、『迷走する家族』(有斐閣)、『新平等社会』(文藝春秋)など。

上記の件に関するお問い合わせは

株式会社 コーチ・トゥエンティワン 広報担当：大谷

TEL: 03-3237-9781 FAX: 03-5275-0737 E-Mail: ohitani@coach.co.jp

ウェブサイト: <http://www.coach.co.jp>